

梅雨明けが待ち遠しい候、会員の皆様におかれましては益々のご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より当工業会の事業運営に、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和3年6月17日、第9回定時社員総会を開催いたしました。

昨年は書面議決によるみなし総会を行いました。この度は理事・監事は会場で会員企業様はWEB参加のハイブリッド形式での開催しました。事務局各位のご協力で実施することが出来ました。

皆様のご協力で議事進行もスムーズに行えました。この場を借りて会員企業様に御礼申し上げます。有難うございました。



非効率石炭火力のフェードアウト、2050年カーボンニュートラルの実現に社会全体が向かっている中、産業界では石炭代替の燃料であるRPFに注目が向けられ、需要面では大きなフォローが期待されています。一方でRPFの原料となるプラスチック廃棄物に関しては1月のバーゼル条約規制強化により、海外輸出は落ち込み国内循環型リサイクル施設が整備されてきています。6月にはプラスチック資源循環利用促進法の法案成立と、私たち業界に課せられた役割は重要で、事業者には主体的に国内循環を促進していくことが提示されました。事業者はより一層の廃棄物排出抑制を行うことから原料集荷は厳しくなることが想定されます。

さて、脱炭素ばかりに舵を切っておりますが、資源循環を行うことで環境負荷が増したり、経済的合理性が無視されるのでは持続可能ではありません。当工業会では環境的、倫理的そして経済性の優位性を考慮した提案や実施が望まれます。工業会としましてはRPFのGHG排出係数をLCAの観点を含め、環境省や専門機関と協力して指標を明確にして公表して参ります。

昨年度はコロナウィルス感染防止の観点から今までのようなリアルな活動が制限され新たな試みもしながら実りある活動に繋げることが出来たと思います。

何といたっても外国人技能実習制度においてRPF製造職種が認められ、技能実習評価試験の実施機関として環境省所管で初めて認められたことは当会にとって大きな成果となりました。三輪委員長を始めWGメンバー各位のご尽力の賜物です。

しかし、コロナウイルス感染下において未だ技能実習生が入国できない状況ではあります。この様な状況下ではありますが、試験実施機関として試験官の育成セミナーが順次開催されていきます。受入れ準備を整えて参ります。

将来的には技能実習を終えて帰国した際、海外での製造・普及に繋げるために昨年10月の理事会で承認された海外事業支援WGは用途開発委員会や安全衛生委員会等各委員会と協力してRPFの普及、事業化を進めて参ります。

## 《各委員会・WGの活動予定》

今年度の活動予定は技術品質委員会より10月に第9回工場見学会をWEBを使ったバーチャル見学会を株式会社関商店のご協力元実施する計画が発表されました。又、同時に安全衛生委員会の第7回安全大会も行われることになりました。会員企業様の要望や状況に応じて数回の開催が検討される計画が発表されました。又、安全衛生委員会では必要応じ会合を開催します。

外国人技能実習WGからは6月22, 23日に第1回試験監督者セミナーを対象者全員参加で実施し、試験実施内容について受付に始まり手順に沿って説明を受けました。

第2回目は7月に技能試験内容とやり方のWEBセミナーを行い、9, 10月に西日本、東日本で実地セミナーの計画が発表されました。会員企業様、社長様のご理解とご協力のお蔭さまで実施できることに感謝申し上げます。引き続きご協力お願いいたします。

用途開発委員会からは昨年度に引き続き大型商談行いますが、中小規模案件や地域分散型共栄圏のような地場の案件にも積極的に係わっていきたくて考えております。もう一点は海外市場についても各委員会やWGと協力して進めていきます。皆様からのご意見、ご見識を頂きながら進めて参ります。

海外事業支援WGにつきましては外国人技能実習制度の活用と今後ベトナム国を初め、東南アジア諸国のRPF利用促進を展開して参ります。定期会合は2か月に1回の開催を計画しております。ご興味のある正・賛助会員企業様は事務局までお問い合わせをお願いいたします。

最後に総務広報委員会からは事務局と協力してRPF普及・啓蒙活動を実施していきます。皆様からご要望のあります工業会の活動状況を今まで以上にサーチライトで配信して参ります。

## 《今期の活動状況》

- 6/21 **ベトナム国へRPFサンプル輸出が出来ました。**  
バーゼル条約規制強化後初めての輸出になります。今後、RPFサンプルを活用して需要家等に提供して参ります。
- 6/22,23 **外国人技能実習評価試験官のWEBセミナーの実施を行いました。**  
第1回目でありましたので、技能評価試験制度の説明とやり方を資料やビデオを活用して流れを確認することが出来ました。
- 6/27 **環境省地球温暖化対策室との面談を行いました。**  
廃棄物由来の燃料のGHG排出係数につきまして工業会の見解を提言しました。

昨年 12 月のフラフ燃料を循環流動床で購入利用した際の係数が規定されていない点は温暖化ガス排出算定マニュアルの改訂がなされました。

[https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/manual/chpt2\\_4-7\\_rev.pdf](https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/manual/chpt2_4-7_rev.pdf)

P-79 II-75 最下段に以下のように追加されました。

2(1)の表に該当しない廃棄物由来の燃料の使用については、廃棄物とみなして1)廃棄物の焼却 (II-66 ページ) の活動として排出量を算定します。

又、RPF の GHG 排出係数について、循環流動床ボイラー用 RPF-A 品の GHG 排出係数について見直しを検討してほしい要望しました。

もう一点はバイオマスプラスチックの生産量拡大により廃棄プラスチックの混入割合をどのように算定し係数化するのか情報提供も含め工業会も協力する旨を伝えた。

今後導入が予想されるカーボンプライシングについて化石代替燃料の RPF には価格差をつけ、化石燃料使用量削減に政策誘導をしてもらいたいと要望しました。

7/5 **新事務所になりました。**

2 階から 5 階になり、今までより広いスペースに変わりました。

お客様や各委員会の打ち合わせを行う際は事前に連絡を入れて頂きご活用ください。

**HP も更新いたしました。**

まだまだ、情報量が少ないので皆様からの要望も含め、ご助言いただけると幸いです。

何卒宜しく願いいたします。

## 《事務局からの報告》

- 外国人技能実習評価試験の試験官育成において、正会員企業の従業員様へ出席して頂けることにつきましては、ご協力に感謝いたしますと併に引き続きよろしくお願ひいたたく存じます。
- 4 月の理事会において青年部の設立の承認がなされました。年齢は 50 才までとなっておりますがお会社様のご理解とご協力を頂きまして、会員を募集しておりますので申し込みをお願いいたします。
- 新事務所移転に伴い、事務機器什器品の購入に際して理事会社様の寄付を頂きました。ご協力いただきまして有難うございました。
- 新規需要案件も多数ございますので、情報収集やご要望も含め、ご遠慮なさらずに事務局にご連絡して頂きますようお願いいたします。

最後になりますがコロナウィルス感染はワクチン接種率が増えてきましたが新たに変異したデルタ株が広がりつつあります。しっかりと感染対策を行い一日も早い終息を期待し、来年の社員総会では皆様にお会いし歓談をできることを希望いたします。

梅雨明けとともに暑さも厳しくなりますが、皆様の健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

総務広報委員会